

街道の駅からの小さな旅

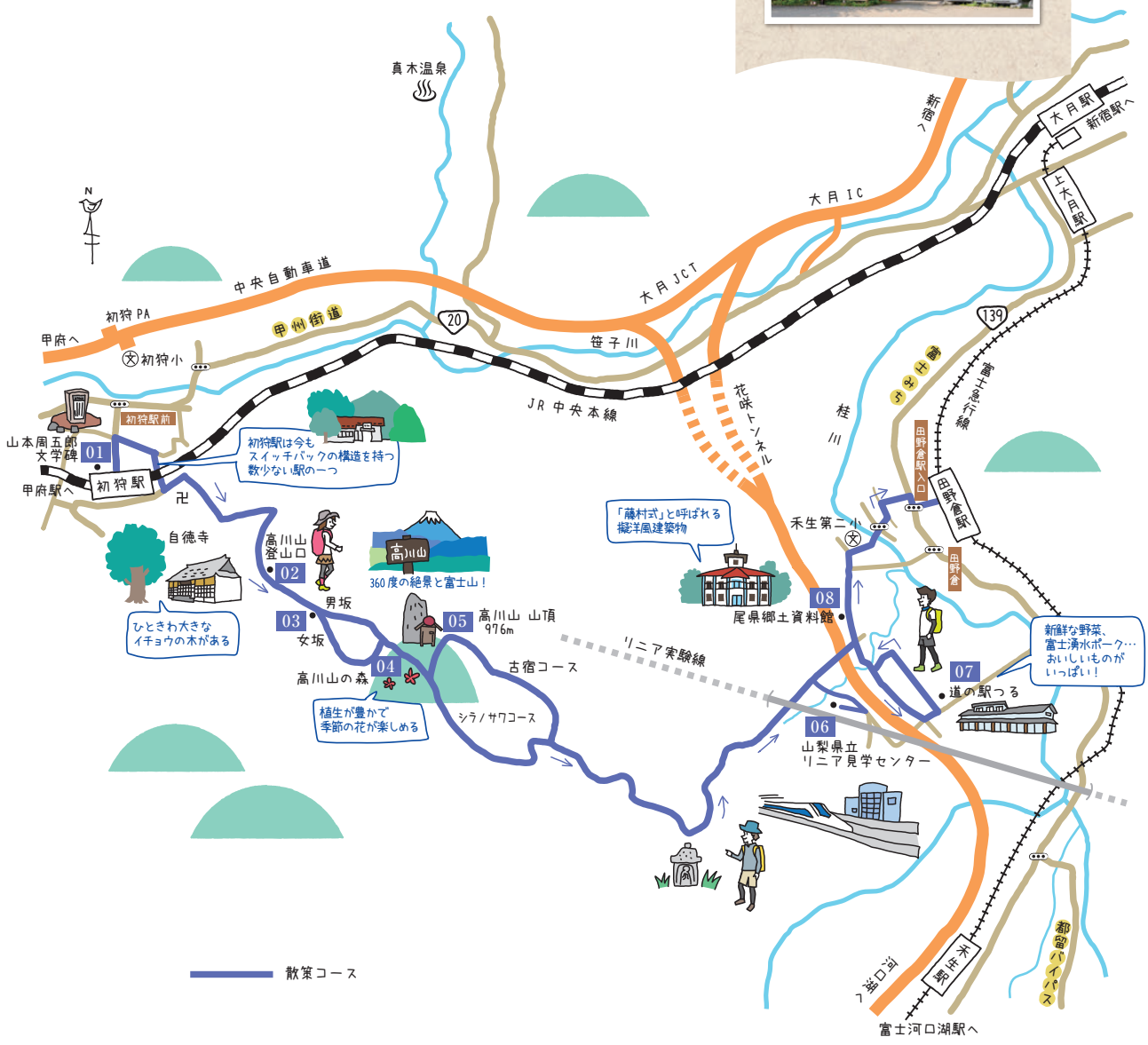
てくてくてくてくて

甲斐のくに

第16駅 初狩駅



今も懐かしい雰囲気を感じさせてくれる
初狩駅をスタートし、高川山に登頂して田野倉駅まで歩きます。
文化人ゆかりの初狩の町から、富士山の絶景が待つ自然豊かな
登山道を行き、新時代の交通機関リニアまでを巡る道。
歴史と自然、そして未来に思いをはせながら、てくてくと…。



06



**山梨県立
リニア見学センター**
時速500キロで走行するリニアを間近で見られる。さまざまな展示や模擬体験からリニアの世界を体験。観光物産スペースなども充実し、山梨とリニアの魅力が楽しめる。

07



道の駅つる
地元産の新鮮な野菜、幻の豚と呼ばれる富士湧水ポーク、地元食材の加工品などがそろう。地産地消のレストラも人気。その他、体験教室や観光案内も充実。

08



尾郷郷土資料館
おがた
明治11(1878)年に建築された旧尾郷学校の校舎を活用。館内には明治から昭和までの教育関連資料が展示され、昔懐かしいおもちゃで遊べるコーナーもある。



てくてく
歩きの
途中で：

高川山の山頂で、東京から来ていた女性に出会いました。「達成感や爽快感が得られ、素晴らしい景色が見られるのが登山の魅力ですね。特に山から眺める富士山は本当に感動的。それに山を通して人と出会い、輪が広がっていくことにも幸せを感じています。最近、駅から直接登れる山によく行っています。これからは他の山梨百名山にも登ってみたいです」と爽やかな笑顔で話してくれました。

01

山本周五郎 文学碑



小説家・山本周五郎は明治36年(1903)に大月市初狩町で生まれた。駅前には山梨を舞台にした「山彦乙女」の二部が刻まれた文学碑があり、駅近くには「山本周五郎生誕之地」の石碑もある。

02

高川山登山口



JR初狩駅から徒歩で登山口まで行けるアクセスの良さも高川山の魅力。道標に従って進むと約30分して登山口に到着。

03

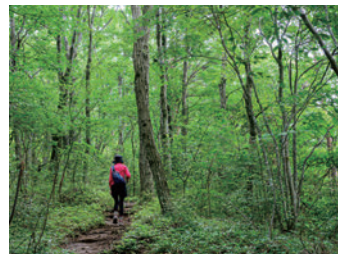
男坂・女坂



岩が多い急登の男坂と、少し遠回りになるが緩やかな登りの女坂がある。どちらのコースを選んでも後に合流し、その後は山頂まで一本道。

04

高川山の森



野鳥の声が響く森は、花の季節にはチゴユリやヒトリシズカ、ヤマツツジ、カタクリなどが咲く。夏にはクワガタの姿も。高川山は多様な動物と出会う自然の宝庫。

05

高川山山頂



標高976メートルの山頂からは大月市の「秀麗富嶽十二景」に選ばれた富士山の絶景が、周囲360度の山々を示す方位盤もある。眼下にはリニア実験線も見える。

てくてく
甲斐の国

高川山からの富士山

そこにはいつも、人の心に語り掛ける絶景がある





大月市では、市域の山頂から望む美しい富士山を後世に伝えるために「秀麗富嶽十二景」を選定。その一つ高川山から望む富士山は、たおやかに裾野を広げ、たなびく雲を従えて、息をのむ美しさ。山梨の多くの山からは、季節や時間、天候により刻々と表情を変えていく富士山を眺めることができる。登ったからこそ出合える、一期一会の風景…。いつまでも心に残る感動が山梨の山で待っている。